

dantimonogatari

団地物語

～多世代が集住する郊外団地における
公共スペースの大規模修繕計画～

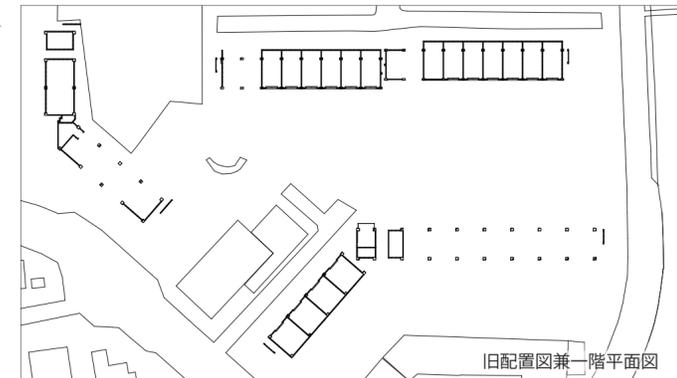


1. 敷地 福岡県 福岡市 早良区

1-1 四箇田団地



計画地は福岡市郊外のUR四箇田団地の一画とする。団地の中でも高層住棟の1階に店舗が併設された、1棟、4棟、5棟およびこれに囲まれた中庭を含むエリアを改修対象とした。ここは団地の中心に位置し、バス停等の交通の結節点となる団地の軸を形成する場所である。



0. はじめに

住宅団地の創生期において、団地は新しい住文化の香りを発散し輝く、憧れの対象であった。しかし今日では、当時とはかけ離れ、建物の経年劣化は進み、多くの問題を抱えている。このため、人々は団地に対してネガティブな印象を抱き、入居者は減少傾向にある。

一方、ライフスタイルは時代と共に変化していくものであるが、居住空間である団地に対し、持続可能な暮らし方が実現できなければならない。団地物語の創作である。

そこで、住戸、住棟のフレームは原則維持し、これからのライフスタイルに対応できるスペースを創り出し、以前のようににぎわいを取り戻す。

2. 設計 新しい四箇田団地を構成する3つの設計



～ index ～

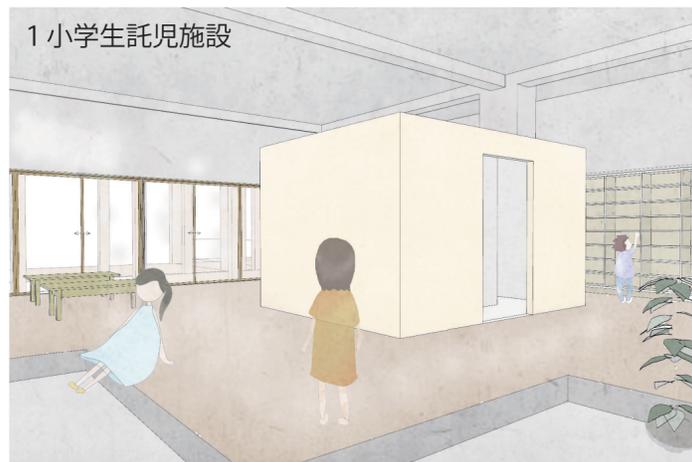
- 1 小学生託児施設
- 2 デイサービス
- 3 幼児託児施設兼子ども食堂
- 4 カフェ
- 5 木工室
- 6 シェア
- 7 郵便局 (既設)
- 8 歯科医 (既設)
- 9 ピロティ (駐輪場)
- 10 機械室 (既設)

2-1 コミュニティの核施設の導入

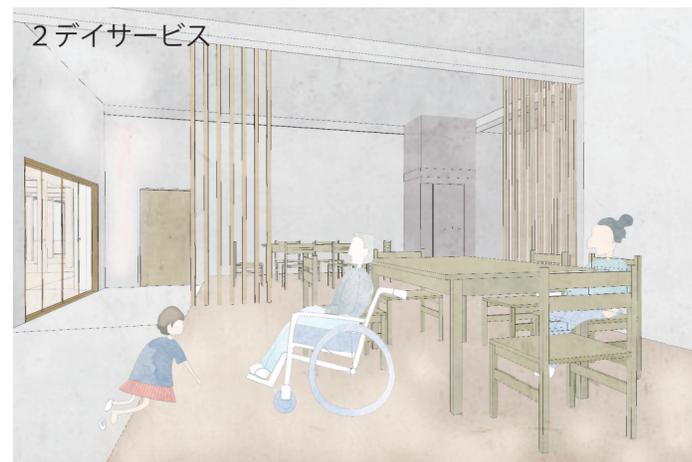
住棟の1階・2階部分を改修して、多様なライフスタイルに合わせた団地の住人が必要とする施設を新設する。

託児施設やデイサービスには土間を設けて、住人が靴のまま行き来できる。普段交流することがない、多世代の住人が交流する空間となる。

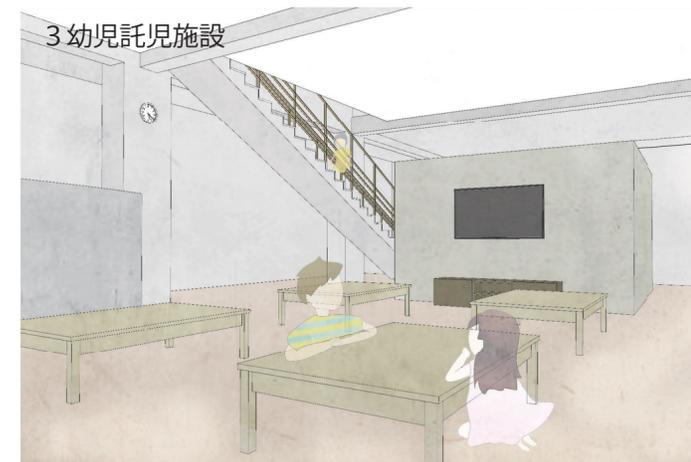
また、団地周辺の地域住人の利用も可能で、団地内だけでなく、周辺地域へと交流の和を広げていく。



1 小学生託児施設



2 デイサービス



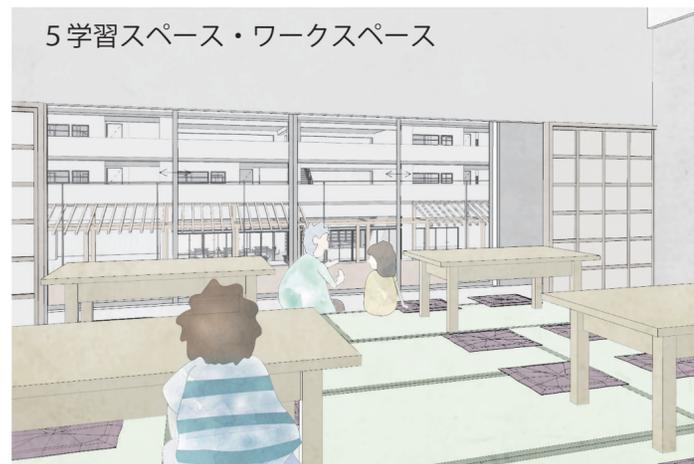
3 幼児託児施設



6 シェアキッチン



4棟南側立面図



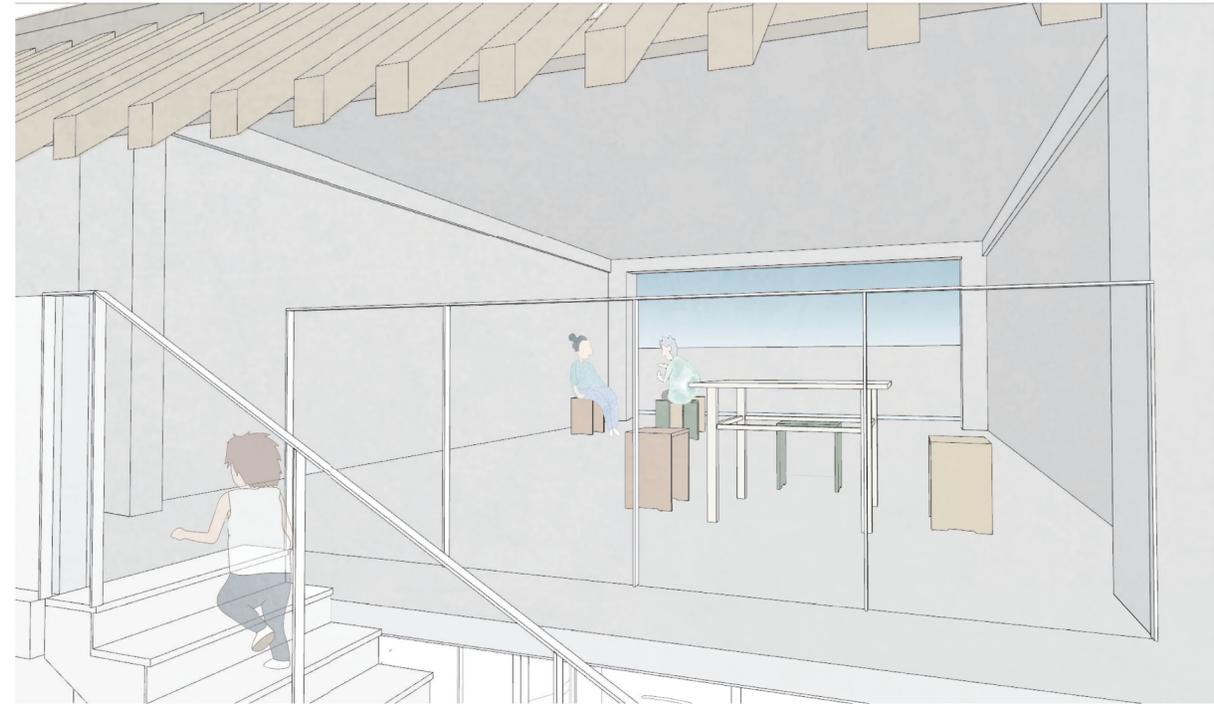
2-2 小単位のコミュニティスペースの整備

住棟の問題として、入居者の減少により空き家の住戸がみられる。

そこで、住棟内の複数階ごとに空き住戸を活用して、小さなコミュニティを形成し、住人の結びつきを図るスペースを設置する。

住人が集えるスペースや子ども達が遊べるスペース、老人が井戸端会をするスペースに活用する。

また、このスペースは人々の暮らしを中庭に向けるようになり、住人が自然と暮らしの場を住戸ではなく、団地全域や地域へと開く新しい暮らし方へと導く。



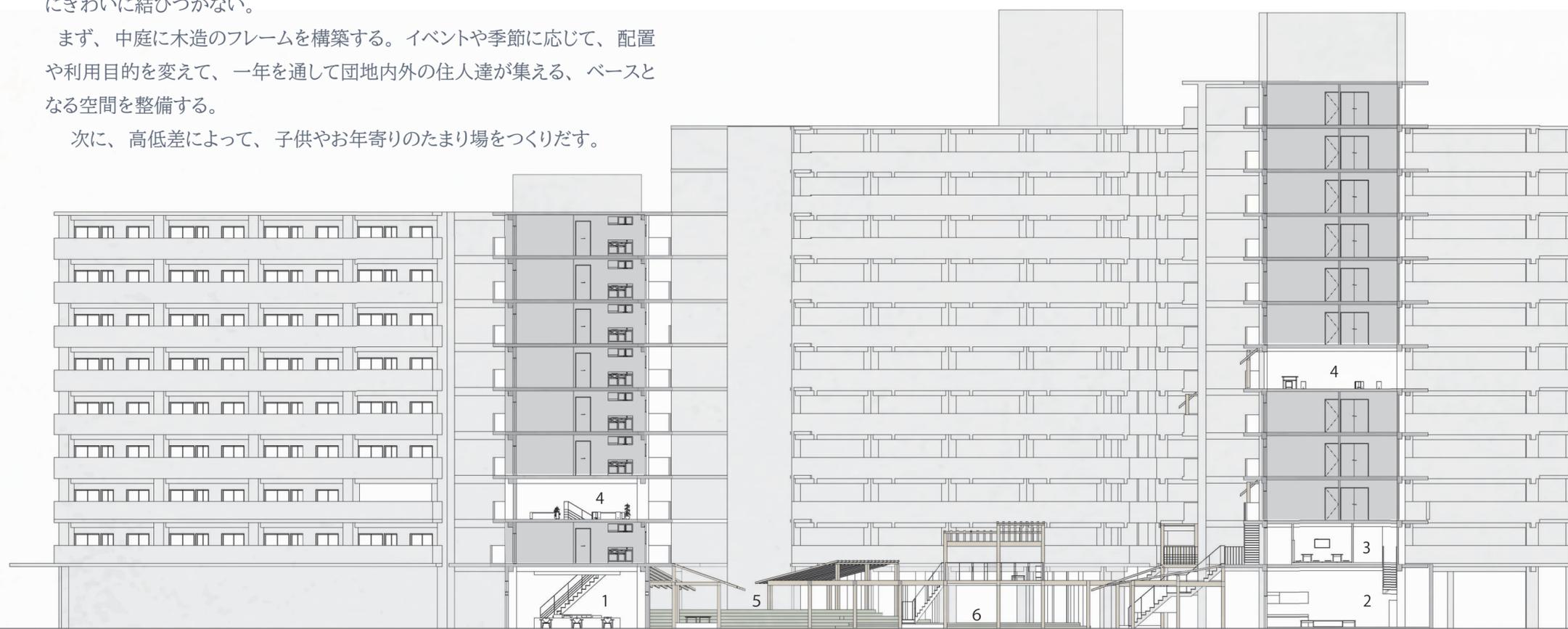


2-3 中庭（オープンスペース）の導入

四箇田団地の魅力は、ゆとりのある住棟配置によって生まれた中央の広い中庭である。しかし、中庭にはコミュニティを形成する媒体がないため、にぎわいに結びつかない。

まず、中庭に木造のフレームを構築する。イベントや季節に応じて、配置や利用目的を変えて、一年を通して団地内外の住人達が集える、ベースとなる空間を整備する。

次に、高低差によって、子供やお年寄りのたまり場をつくりだす。



～ index ～

- 1 シャアキッチン
- 2 幼児託児施設兼子ども食堂
- 3 高齢者学習施設
- 4 コミュニティスペース
- 5 広場1
- 6 広場2